

● 診療科の特色

当科は平成11年7月より開設された部門である。

現在は指導医1名、専攻医2名で診療を行っている。

形成外科のほぼ全般にあたる診療を行っているが、現状では約8割が小児の症例となっている。

なかでも乳児血管腫、太田母斑、異所性蒙古斑などの血管腫、あざに対するレーザー治療が診療の中心である。小児であざの面積が広範囲の場合は入院、全身麻酔下での治療も行っている。

● 入院診療実績

1. 主要手術 年間手術件数 942 件

	手術名	件数
1	外傷	23
2	先天異常	86
3	腫瘍	168
4	瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	10
5	難治性潰瘍	0
6	炎症・変性疾患	17
7	美容(手術)	0
8	その他	31
9	レーザー治療	607

● 研究業績

論文

- 1) 塩原 里奈  
 幼児鼻骨骨折術後に鼻孔プロテーゼを使用した1例  
 岡山医療センター 年報,20,281-283,2025年 3月24日

学会発表

- 1) Tessier No.3cleft の再建例  
 末延 耕作  
 第67回日本形成外科学会総会・学術集会 2024年4月10日
- 2) 眼科領域悪性腫瘍切除後の当科における下眼瞼再建の検討  
 竹内 優  
 第67回日本形成外科学会総会・学術集会 2024年4月10日